

デューダズ autocult

Winfield Reactor (米国, 1965)

小型車

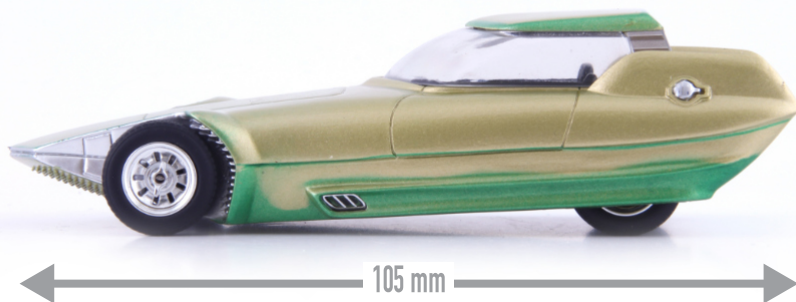
scale 1/43

#03021

available

05/2022

limited edition 333 Stck.



アメリカンドリーム

ジーン・"ウィンディ"・ウィンフィールドは1927年にスプリングフィールドで生まれ、カリフォルニア州モデストで育った。すでに10歳の頃から、暇を見つけては写真を見本に飛行機を作っていた。15歳のとき、初めて車を購入。すぐに別の色に塗り替え、カスタマイズの世界に足を踏み入れる。その後、車体構造にますますのめり込み、何事にも自信を持つようになった。ウィンフィールド・カスタムショップで製作したクルマは、彼の技術の頂点であった。1946年のフォードを改造し、車体をカスタマイズした「ストリップスター」は、1960年代初頭に大きな注目を浴びた。おそらく、アメリカ東海岸のショープロモーター、ジョー・キジスの興味を引いたのだろう。そのプロモーターは、人目を引く特別なクルマが欲しいということで、2万ドルの予算で製作を依頼した。

ジーン・ウィンフィールドは、シトロエンDSのシャシーと特徴的なサスペン

ションを使用し、コルベット コルベアの6気筒ターボドライブを搭載して、この仕事をやり遂げた。

オートラマ・スペシャル」と名づけられたこの車は、抽象的な光沢のあるゴールドの塗装を施された外観で、1965年の「第15回ハートフォード・オートラマ」で人目を引くこととなった。

その後、ジーン・ウィンフィールドは20世紀フォックスにこの車を提供し、いくつかの映画ドラマに登場することとなった。「スター・トレック」のエピソード：パンとサーカスや、「バットマン」のエピソード：おかしなネコの重罪、1968年の「ミッション・インポッシブル」のテレビ映画「フリーズ」などに、「リアクター」と呼ばれるこの車が登場したのである。

2017年8月20日、人気の「ペブルビーチ・コンクール・デレガンス」で「1960年代のアメリカン・ドリーム・カー」

という特設部門で、他の映画車両9台とともに展示された。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de